

## 令和5年度第2回音更町地域公共交通活性化協議会会議結果（要旨）

会 議 名	令和5年度第2回音更町地域公共交通活性化協議会
開 催 日 時	令和5年9月19日（火）午後4時から午後5時まで
開 催 場 所	音更町役場3階特別会議室
委 員 出 席 者	宮原会長、深谷職務代理、長沢委員、小森委員、村上委員、鈴木委員、久保委員、塚本委員、若杉委員、大江委員、片桐委員代理、大立目委員、塚委員、竹内委員、堀田委員、井原委員、高瀬委員、高橋委員、岸アドバイザー
事 務 局 出 席 者	大井事務局長、川村事務局員、横井大事務局員
議 題 ・ 諮 問 内 容	<p>(1) 議案第1号 コミュニティバスへのフリー降車制度の試験導入について</p> <p>(2) 議案第2号 障がい者運賃割引制度の導入について</p> <p>(3) 議案第3号 高齢者を対象にした公共交通に関する勉強会の開催について</p> <p>(4) その他</p>
会 議 資 料	別添のとおり
会 議 結 果	<p>(1) 議案第1号～議案第3号 議案のとおり実施することが承認された。</p> <p>(2) その他 今後の協議会の開催スケジュールについて説明があり、次のとおり対面式が1回と書面会議が1回の計2回の開催が予定されていることの説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対面式 コミバスや乗合タクシーの運行ダイヤやルートの見直しなどの利便性向上策の案をまとめた上で2月頃に開催予定（案の取りまとめ状況によっては開催時期が遅れる可能性がある）。</li> <li>・書面会議 乗合タクシーの運行で活用するフィーダー系統補助金の事業評価について協議するため、12月下旬に開催予定</li> </ul>
出された主な意見等	<p>(1) 議案第1号</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ フリー降車を導入した場合に、どこでも降車できるようスピードを抑えながら運行する必要があるなど、所要時間が伸びることも考えられるが、その辺りはどう考えているか。</li> <li>→ まずは、現行のダイヤのままで試験導入したいと考えており、ご指摘の点のほかにも課題が見えてくることが想定されることから、各種課題を洗い出し、運行事業者とも協議しながら、今後につなげていきたいと考えている。</li> <li>○ 試験導入の期間は。</li> <li>→ まずは、来年3月までを試験運行期間としたい。</li> <li>○ 運輸支局への届出を1か月前までに行う必要があることから、試験運行期間後もフリー降車を継続するかどうかは、2月までには結論を出す必要があると思う。</li> <li>→ 試験運行期間中に都度運行事業者と協議を進めながら、継続等の判断を行っていききたい。</li> <li>○ フリー降車を利用した箇所を把握し、利用が多い箇所については、将来的に新たなバス停を設置するなどの議論も進めるべきと考える。</li> </ul>

→ フリー降車を利用した箇所の把握については、乗務員の負担にもなってくるので、実施までに運行事業者とも協議を進めるとともに、一定の利用があると考えているので、その結果に基づくバス停の新設等についても、今後のルート見直しの中で検討していきたいと考えている。

(2) 議案第2号

○ 他の自治体において手帳の紛失や更新などにより原本がない場合に、原本以外のものにより障がい者割引を利用できないかと照会があったが、乗務員の確認が困難になるため、再発行や更新手続中は通常運賃で利用してほしい旨を回答しており、音更町においても同様の取扱いとしてほしい。

→ 路線バスと同様の対応にしなければ、利用者が混乱すると考えており、原本のみの対応とする方向で考えている。

○ ミライロIDの実物を見たことがなく、障害者手帳の種類も数多くあることから、それぞれの見本を用意してほしい。

→ 障害者手帳を所管する保健福祉部とも相談しながら、見本を用意したいと考えている。

○ 路線バスでは、身体障害者手帳と療育手帳の第1種の場合は付き添いの方も半額、第2種の場合はご本人のみという取扱いにしているが、同様に扱うということで良いか。

→ 同様に取り扱いたいと考えている。

○ この制度の対象になる人の人数は。

→ 身体が1,889人、療育が492人、精神が337人の計2,700人程度と把握している。

○ この割引に必要な費用は、町が負担して運行事業者に支払われるという認識で誤りがないか。

→ ご指摘のとおり町が負担していく。

(3) 議案第3号

○ 宝来地区においては、高齢者の方が増え、1町内会が消滅するおそれさえある状況である。免許返納者も増えることから、みんなが公共交通を活用して十勝川温泉などに行くことを呼びかけるなどして利用促進を図ってはどうか。

→ ご意見として承り、観光協会にもこのようなご意見があったことをお伝えさせていただく。

○ 高齢者をターゲットにするのであれば、そうした方が将来的にも音更町に住み続けていただくために、参加者の方に公共交通でどこに行きたいかという意見などを聞くべきである。現在、自家用車で移動されている方の目的地がバス停付近であれば、公共交通の利用を促すとともに、バス停から離れた場所である場合は、将来に向けて何らかの対応を検討することが重要で、今の公共交通ネットワークで免許返納後も同じような生活ができるのかという視点を持ちながら、勉強会の機会などを活用して、幅広くニーズ（1週間の間で何時くらいにどこに外出するか等）を把握する必要がある。

→ ご指摘を踏まえて、勉強会においては、こちらからの一方的なお知らせだけでなく、簡単なアンケートなどにより参加者の行動形態などを把握したり、要望などもお聞きする方向で検討しながら、この事業に取り組んでいきたい。

	<p>(4) その他</p> <p>○ 最近バスの減便に関するニュースが各地で聞かれる。運転手不足や利用者減少などが要因であり、ある程度は避けられないという思いはあるが、町として、町民にとって最低限これだけのサービス水準は必要であるという、公共交通に対する一定のサービス提供ラインをあらかじめ持った上で、減便に対する対応を検討する必要があると思う。減便の内容などは、この協議会で議論を行い、苦しい時こそみんなで知恵を出して、より良い案を出すことも可能だと思うので、まずは、町としての公共交通に対する最低限のサービス水準を設定する方向で検討を進めていただきたい。</p>
お 問 合 せ 先	事務局 音更町企画財政部企画課企画調整係（内線212）